



果樹特報

No.13

平成30年9月21日
JA中野市営農センター
JA中野市りんご・もも部会

9月の曇天・多雨ですす病等の感染拡大が心配されます。加えて黒星病の秋季感染も活発化しています。収穫が終了した品種も含めて今回の特別散布を実施してください。

りんご 9月下旬の特別散布（すす病・黒星病・炭そ病予防）

散布時期： 9月25日～30日（前回散布から10日後）

散布薬剤： 水 100ℓ

展着剤 10ml

アリエッティC水和剤 100g（前日、3回） *注意事項①参照

対象病害虫：すす点病・すす斑病・黒星病・炭そ病・斑点落葉病

散布量：10アール当たり 600ℓ

◆ 散布日：9月 日

◆ 散布量： ℓ

注意事項 *必ずお読みください。

- ① アリエッティC水和剤に代えて、ストライド顆粒水和剤1,500倍（前日、3回）又はベフラン液剤2,000倍（前日、3回）もよい。
- ② 黒星病予防のため、収穫終了した品種も含めて散布してください。
- ③ 薬液が樹内部まで到達するように徒長枝切りや支柱立て等を適宜実施してください。

◆ シナノスイートの管理について

芯カビ果の発生が目立っています。現状で地色が抜け、ワックス等が乗っている果実は芯カビ果の可能性が高いです。早めに除去してください。

1. 芯かび果の特徴 ⇒ ①異常に地色の抜けた果実の除去、②早期着色果実の除去。
2. 収穫開始予想：南部地帯10月1日頃～、北部地帯10月3日頃～
3. 注意点：曇天により、全体に着色が遅れています。ただし、果肉軟化は進んでいます。一定の着色が乗った時点で収穫を開始してください。

◆ シナノゴールドの管理について

現状では炭そ病被害果の発生は少ない状況です。被害果を見つけ次第、早めに除去してください（放置すると健全果へ二次感染します）。外観が黄色味を帯びてきました。独特の酸味と甘みのバランス良いうちに一定量まとめて収穫を完了してください。

1. 収穫開始予想：南部地帯10月7日頃～、北部地帯10月10日頃～
2. 注意点：シナノゴールドの成熟（収穫期）は地域差が大きい傾向です。日持ち性を考慮して、酸味と甘みのバランスがある状態でまとめて収穫を行ってください。

▶ ふじ対象の着色剤使用例は次ページをお読みください。

➡ 参考：りんご着色資材の使用例

● 対象：ふじ

- 下記資材は全て定期散布に混用可能です。選択により使用してください。詳しくは担当技術員までお問い合わせください。

商品名	使用目的	倍率	使用時期	500 ^{リットル} 当たり 薬剤費	定期散布 農薬 混用
彩色甘味 (おすすめ!) @2,640 円/500g	着色促進 糖度向上	1,000	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	2,640 円	可
モーニング エース @4,320 円/500ml	着色促進 品質向上	500	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	8,640 円	可
ビビットレッド @1,396 円/1.2 kg	着色促進 品質向上	500	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	1,163 円	可
葉友 @72,749 円/20 ^{リットル}	着色促進 花芽充実 品質向上	2,000	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定 2 カ月前から 3 回連続散布が効果的)	909 円	可
メリット赤 @20,085 円/20 kg	着色促進 樹勢調節	300	9月上旬・9月中旬・10月初旬 (収穫予定 2 カ月前から 3 回連続散布が効果的)	1,672 円	可

◆ 使用例

- ① 彩色甘味：9月中旬・9月下旬の2回連続で定期防除に混用散布 ⇒ ふじ対象
- ② モーニングエース：9月中旬・9月下旬（シルバー敷き前）に500倍で2回連続散布 ⇒ ふじ対象
- ③ メリット赤：9月上旬・中旬・下旬に300倍で3回連続散布 ⇒ ふじ対象

～ お知らせ ～
 9/14 付けでりんご・もも部会を通じて生産拡大品種苗木の注文と取りまとめています。りんご百年ふじ・シナノリップ2年生、もも生産拡大品種・耐凍性台木付きなつっこ等。この機会に苗木導入を進めて頂き、生産基盤の若返りを図ってください。